Rotary International 2022-23 会長 ジェニファー・ジョーンズ（カナダ）	国際ロータリー第２６７０地区 ガバナー 八田 光 （高松北RC）
テーマ ＩＭＡＧＩＮＥ ＲＯＴＡＲＹ 『想像しよう ロータリー』	<第４８年度> **丸亀東ロータリークラブ** 会長 納田美由紀 幹事 中 哲生

2022年１２月１３日(火)

2022-2023年度 第４８年度 第２３回 通算第2259回例会

【会長報告】 納田美由紀会長

◆ 12月11日(土)善通寺RCの創立55周年記念式典に中 幹事と原 ガバナー補佐と一緒に参加してまいりました。

【幹事報告】 中 哲生 幹事

◆ 前年度の「地区概況」と 12月・1月・2月プログラム予定表を配布しております。

◆ 前回例会終了後、12月理事会を開催しました。

① 12月・1月・2月プログラムの件 ・・・ 承認

② 新会員候補者＜宮武様、鷲辺様、高橋様＞の件 ・・・ 承認

【原 ガバナー補佐報告】 原 将嘉 ガバナー補佐

◆ 3月18日(土)「香川第Ⅰ分区・第Ⅱ分区合同Ⅰ・M」の案内文を配布しております。当クラブがホストクラブとなりますので、全員参加でご協力をよろしくお願いします。

【副会長報告】 田中 誠 副会長

◆ 前回例会終了後、次年度理事会を開催しました。

2023-2024年度 ＳＡＡ、副ＳＡＡ選出の件について、ＳＡＡに片岡浩昌さん、副ＳＡＡに三谷 大 さんが選出され、承認されました。

※ 片岡さんと三谷さんに就任受諾の挨拶をお願いします。

◆ 12月11日(土)徳島グランヴィリオホテルにて開催された「ロータリー財団補助金管理セミナー」に本間次期幹事と一緒に参加してまいりました。

☆次年度、地区補助金を申請する事業がありましたら3月31日までに提案書の作成をして下さい。

【プログラム】★ 客話（プログラム委員会）前山佳裕委員長

〔国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所

副所長(河川) 白石 隆 様〕

演題『土器川の治水事業について』

＊土器川流域の概要

＊土器川の浸水想定区域で操業する企業

＊「流域治水」の施策イメージ

・気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働

して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。

・治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

＊土器川流域治水プロジェクト

令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、土器川水系においても、全国でも急流河川で下流部の氾濫が拡散する水害特性に対して、事前防災対策を進める必要があることから、堤防整備及び浸食対策や、中下流域の下水道整備等の取り組みを実施することで、国管理区間においては、戦後最大の平成16年10月台風23号と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

＊土器川水系の河川整備メニュー

・土器川は、平成24年9月に土器川水系河川整備計画を策定し、上下流の治水安全度のバランスを確保しつつ、平成16年10月の台風第23号と同規模の洪水を安全に流下させることを目標に対策を実施している。

＊一級河川土器川改修事業（土器・飯野地区：丸亀市）

・土器飯野地区は、人口・資産が集積しており、上流よりも川幅が狭く、治水安全度が低いことに加え、高潮位の影響を受けやすく、決壊時に甚大な被害が予想される。

・そのため、平成16年10月の台風第23号と同規模の洪水を安全に流水させ、治水安全度の向上を図るため、平成22年に事業に着手しており、引堤や河道掘削により流下能力を増大させる。

＊１工区（ＪＲ橋下流）

・ＪＲ橋下流右岸は、対岸（左岸）に比べ、堤防の高さが低く、堤防の幅も狭いため、堤防断面の拡幅を行うとともに、水衝部における必要な高水敷幅が確保されておらず堤防が被災する可能性があるため、堤防補強及び高水敷の造成を実施。

＊２工区（蓬莱橋改築）

・右岸堤防の引堤により、現在の蓬莱橋、新蓬莱橋の橋梁延長が約25m足らないため橋梁延伸に伴う架替を実施。

・また、橋梁架替に伴い、現橋梁が構造令に適合していないため、径間長や桁高不足など、質的な改良も実施する。

＊３工区（ＪＲ橋上流）

・ＪＲ橋上流は、最も川幅が狭い区間のため、右岸堤防の引堤を実施するとともに、河道掘削により必要な流下断面を確保する。

・また、当該箇所は、急激な湾曲部となっているため、局所洗堀が進行しているため、左岸堤脚部の根固め補強を行い、堤防強化を図る。

＊一級河川土器川河川改修事業（長尾地区：まんのう町）

・長尾地区は背後地に、まんのう町の保健センターや大手コンビニエンスストアへ調理パン、米飯、総菜を提供する製造工場がある地域であり、野津床止めや、満濃大橋による影響を受け、局所的に深掘れが進行しています。

・そのため、洪水時の浸食保護を目的とした低水護岸を整備する対策を進めています。

＊土器川の河川管理

・土器川を美しく、そして安全な状態に保つためには、日常の管理が重要です。そのた

め、堤防巡視の為の除草や、数多く管理している樋門・出水などの河川管理施設の点検・補修を実施しています。
また、河川巡視やカメラなどで不法投棄、水質変化、河川利用や瀬切れなどの川の状況を確認したり、不法投棄防止啓発のチラシを作成し、自治体と協力して広報に取り組んでいます。

＊公募による民間事業者の活力を利用した河床掘削の実施

・河川の砂利採取の規制を緩和し、民間事業者の活力を利用した砂利採取を促すことで河川管理者の堆積土砂の撤去にかかるコスト縮減を図ります。
四国の直轄河川で初めてとなる「公募掘削」に平成30年度より取り組んでいます。

＊熱ｉ・土器川プロジェクト　～令和3年度開催イベント～

・香川河川国道事務所では、土器川の現状を知り、地域のみんなで河川の利用や維持管理について考えていくための取り組みとして、「熱ｉ（ねつあい）・土器川プロジェクト」を平成30年に立ち上げ、かわ歩き等のイベントを行っています。
住民・大学・ＮＰＯ等・行政が連携した取り組み（地域協働）となることを目指します。

『一級河川土器川改修事業（土器・飯野箇所）』安全で快適な街づくりを目指して

事業概要　一級河川土器川改修事業（土器・飯野箇所）

・土器地区事業の概要

流下能力対策・河岸浸食対策

人口・資産が集積する当該区間は、上流よりも川幅が狭く治水安全度が低いことに加え、高潮位の影響を受けやすく、破堤時に甚大な被害が予想されます。当該区間の破堤の危険性を軽減し治水安全度の向上を図り、以下の対策を実施します。

○ 流下能力対策
　引堤、蓬莱橋改築、河道掘削、堤防断面拡幅

○ 河岸浸食対策
　引堤、河道掘削、高水敷造成、根固補強

河川改修による整備効果

戦後最大流量である平成16年10月の台風23号の洪水が安全に流せる程度の流下能力の増大と河岸補強により、治水安全の向上が見込まれます。

・事業連携

都市計画に則した整備

当該事業にあたっては、丸亀市が平成19年4月に策定した「丸亀市都市計画マスタープラン」等に基づくとともに、当該区間に位置する丸亀市道南浦上分線（丸亀市）県道33号主要地方道高松善通寺線（香川県）河川総合公園（丸亀市）等の管理者と連携した整備を進めます。
「丸亀市都市計画マスタープラン」では、丸亀城への眺望景観の確保、河川敷等空間利用の活用、土器川堤防活用等道路交通環境の整備、都市の安全性確保が整備方針とされています。

・環境への配慮

地域への配慮

蓬莱橋右岸の河川総合公園では、散策、スポーツや地域行事等の利用があり、貴重な河川空間の活用に配慮した空間づくりを行っていきます。

ヨシ原の復元・保全

ヨシ原は小動物の生育場や鳥類の採餌場となる等、多様な生物環境となっています。貴重なヨシ原の復元・保全を行っていきます。

干潟の復元・保全

周辺水域は稚魚やカニ類等の貴重な生息場や鳥類の採餌場となる等、干潟環境となっています。貴重な干潟環境の復元・保全を行っていきます。

・専門家等のご意見

事業への反映

河川環境の保全方法等工事の実施にあたっては、土器川河川・渓流環境アドバイザー会議や現地説明会等で、河川環境の専門家等からご意見を頂きつつ整備を進めてまいります。

・工事内容の解説

引 堤

既設の堤防より堤内地側に新たに堤防を築造します。これにより川幅を拡大し、洪水時に流れる流量を増やします。

河道掘削

河岸や河床の土砂を掘削します。これにより通水断面を拡大し、洪水時に流れる流量を増やします。このとき、ヨシ移植や緩傾斜掘削等により、ヨシ原と干潟の復元・保全を行います。

堤防断面拡幅

必要な堤防断面が不足する区間について堤防断面の拡幅を行います。これにより洪水を安全に流下させます。

根固補強

護岸基礎工を保護するため、巨石や根固ブロック等で覆い固めます。これにより洪水時に発生する恐れのある堤防前面の深掘れを防止します。

高水敷造成

未整備箇所の高水敷（複断面形状の河川で、低水路より一段高い部分の敷地）を造成します。これにより、洪水時に発生する恐れのある堤防の浸食を防止します。

蓬莱橋改築

引堤に伴い橋梁を延伸し、桁下高及び支間長が不足している橋桁の架け替えを行います。

事業の流れ

・一級河川土器川改修事業（土器・飯野箇所）

① 事業説明会

事業の目的や概要、施工手順等を説明します。また測量等に伴う立ち入りをお願いします。

② 用地幅杭打設

設計内容に了解が得られたら、土地の取得等に係る用地の範囲を示す用地幅杭を設置し、必要な土地の範囲を明らかにします。

③ 用地測量物件調査

所有地の立会を得、土地・建物・立竹木など、補償対象となる測量や調査を実施します。

④ 用地説明会

関係者の方々に用地買収・補償の概要、契約までの手順等を説明します。

⑤ 用地取得

必要に応じて用地測量・物件調査の成果に基づき補償金の算定を行い、用地取得します。

⑥ 工 事

一連区間の用地取得完了後、順次工事実施します。また、状況に応じて、事前に工事説明会を実施します。

⑦ 供 用

一連区間の工事完了後、供用開始します。

★ 安全で安心できる川づくり　～国が管理する一級河川、土器川～

土器川は、香川・徳島県境の讃岐山脈に源を発し、中讃地域を南北に貫流して瀬戸内海に注ぐ一級河川です。

土器川流域は、温暖少雨の瀬戸内海気候に属し、アジアモンスーンに位置する我が国の中では、年間降水量の少ない地域です。その降雨特性は、梅雨や台風期に集中する傾向にあります。このため、河川を流れる通常の水量は極めて少なく、渇水被害が頻発する反面、ひとたび前線の発達や台風の襲来があると、急流で流路の短い河川特性のため、短時間に洪水となる一面を持ち合わせています。また、洪水位は堤内地盤高より高いため、氾濫流は流域外にまで拡がり、人口・資産が集中する丸亀市街地のほぼ全域に及びます。

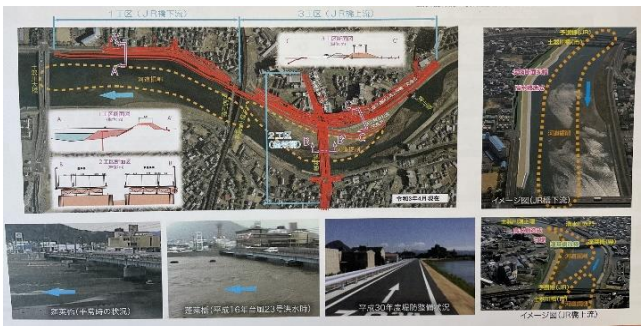
★ 河川改修　～安全で潤いのある地域社会のために～

■ 土地・飯野箇所

人口・資産が集積する当該箇所は、川幅が狭く、屈曲しているため、治水安全度が著しく低くなっています。また、河口部に位置するため潮位の影響を受けやすく、堤防が決壊した場合に甚大な被害が想定されます。

そのため、堤防等の河川改修を行い堤防決壊の危険性を軽減します。

令和4年度は、引堤、用地買収、河道掘削を推進します。



【本日のニコニコ】

- 国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所 副所長(河川)
  白石 隆 様をお迎えして。客話を拝聴して。　：前山 佳裕　プログラム委員長
- 国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所 副所長(河川)
  白石 隆 様をお迎えして。客話を拝聴して。　：納田美由紀会長
- 国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所 副所長(河川)
  白石 隆 様をお迎えして。客話を拝聴して。　：中　哲生　幹事
- 2023-2024年度ＳＡＡに選ばれて　：片岡 浩昌　様
- 2023-2024年度副ＳＡＡに選ばれて　：三谷　大　様

【来訪ロータリアン】（なし）

【メークアップ】（なし）

【出席報告】　第２２５９回例会　<12月13日(火)現在>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
４１名	２名	３９名	３４名	４名	89.74%

第２２５７回例会　<11月29日(火)例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
４１名	２名	３９名	３４名	４名	89.74%

【１２月２０日(火)の例会】　クリスマス会🎄（親睦活動委員会）塩野拓二委員長

【オークラホテル丸亀12Fエメラルド　午後7時～】

◎ 12月27日、2023年1月3日、1月10日の例会は休会です ◎

【2023年１月１７日(火)の例会】　丸亀ＲＣとの合同新年例会（親睦活動委員会）

【午後６時～山北八幡神社にてお祓い】

【午後７時～オークラホテル丸亀2Fにて合同新年例会】

~四つのテスト~　言行はこれに照らしてから

1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある。

第１．　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
第２．　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
第３．　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
第４．　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

MARUGAME　EAST　ROTARY　CLUB

例会場　オークラホテル丸亀　☎23-2222
〒763-0011　丸亀市富士見町3-3-50

事務所　オークラホテル丸亀４３０号室
例会日　毎週火曜日　PM12:30~PM1:30

TEL ; 0877-21-6611　FAX : 0877-21-6655
URL ; http://www.marugame-east-rc.com
E-Mail ; merc@soleil.ocn.ne.jp